



家族や友人と一緒に縁日屋台の遊びを満喫しました。

子ども達の笑顔がキラキラ 「いいたてっ子秋祭り」

9月15日、いいたて希望の里学園で、『いいたてっ子秋祭り』が開催されました。主催は飯館村PTA連絡協議会の役員を中心とする「いいたてっ子秋祭り実行委員会」。児童・生徒と、までのりの里のこども園の園児が、家族と共に参加しました。会場にはヨーヨー釣り、射的、輪投げ、ボーリングサッカー、千本吊りなど縁日屋台の遊びがずらり。さらには村内事業所の協賛による豪華景品盛りだくさんの「大ビンゴ大会」も。保護者、先生方、地域の温かな思いが詰まったお祭りを、子ども達が笑顔満開で楽しみました。

おいしいトウモロコシを 届けていただきました！

9月4日、いいたて希望の里学園とまでのりの里のこども園で、トウモロコシのプレゼントがありました。山梨県忍野村にお住まいの田邊達也さんは、震災の直後からこれまで毎年のように、村の子ども達にトウモロコシを贈ってくださっています。今回「飯館村の子ども達のために」とトウモロコシを携え、ご家族と共に飯館村にお越しになり、学園とこども園に直接届けていただきました。子ども達はいただいたトウモロコシを手に、どうやって食べるかわくわくです。みんなで一緒に、「ありがとうございます！」



市町村対抗軟式野球大会 信夫ヶ丘球場で1回戦

9月16日、第18回市町村対抗福島県軟式野球大会の1回戦が福島市の信夫ヶ丘球場で行われ、飯館村チームが大玉村チームと対戦しました。試合は点の取り合いが続く打撃戦となり、飯館村チームは、ホームラン1本を含む10安打で健闘しましたが、5回に逆転を許し、7対10で惜敗しました。

ツーランホームランでホームにかえり、スタンドの拍手に応える巻野雄汰外野手。



力強い打力を見せた飯館村チーム。明るいムードでチームワークも抜群。今後の活躍に期待が高まります。

いつでも塾生募集中！ わくわく農業体験塾

農業を通じて交流を深める『わくわく農業体験塾』は、9月7日に第2回実行委員会を開催しました。実行委員会では、今年度前半の活動を振り返り、より充実した活動にするための意見を出し合いながら、それぞれの思いも共有しました。

実行委員会後は、赤石澤備塾長（上飯樋）の畑に移動し、冬野菜の種まき・定植を行いました。10月には、移住検討者向けモニターツアー「ミチシル旅」の参加者とのさつまいも掘り、11月には料理交流会の開催を計画しています。



この日は、白菜、大根、カブを植えました。作業後は収穫したスイカをみんなで味わいました。

子どもから大人まで！ テニス教室で楽しく運動

9月21日、いいたてスポーツ公園の屋内コートにて、飯館村主催のテニス教室を開催しました。参加者は、硬式テニスに9人、軟式テニスに4人の合わせて13人です。グループごとに講師が付いて、基本的な打ち方やサーブから、コースを狙った打ち方まで、アドバイスを受けながら練習しました。参加者からは、「初めて参加したけれど、楽しかった」「これからも参加したい」という声が上がっており、それぞれがテニスを通して、交流や運動を楽しんでいました。



初心者から経験者まで、さまざまな年代が集まり、テニスを通じて交流を楽しみました。

あぶくま信用金庫 企業版ふるさと納税寄附贈呈式

9月9日、あぶくま信用金庫より、村で初めてとなる企業版ふるさと納税の寄附をいただきました。

あぶくま信用金庫と飯館村は、令和元年8月に双方の資源を活用しながら魅力ある地域づくりや地域創生をめざす「地域密着総合連携協定」を締結しています。寄附にあたり、あぶくま信用金庫の太田裕福理事長は「地域の人々に感謝し、地域創生事業に、より一層の支援と連携をしていきたい」と語りました。いただいた寄附は、村の子ども達の教育に活用されます。



(写真左から)佐藤和良飯館支店長、阿部高浩常勤理事、太田理事長、杉岡村長、村幹部で記念撮影。